



2025年6月16日

各 位

会社名 株式会社 植松 商 会  
 代表者名 代表取締役社長 植松 誠一郎  
 (コード: 9914 東証スタンダード・名証メイン)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役管理部長 阿部 智  
 電 話 022-232-5171

### 上場維持基準の適合に向けた計画（改善期間入り）に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月16日にスタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。また、同時に2026年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定し開示しております。さらに、2023年6月5日及び2024年6月14日に当初計画の進捗状況について開示いたしました。

2025年3月20日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2025年3月20日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっております。「流通株式時価総額」について基準を充たしておりませんので、当初計画のとおり、2026年3月期には上場維持基準を充たせるように各種取組を進めてまいります。

|                           |                   | 株主数<br>(人) | 流通株式数<br>(単位) | 流通株式時価総額<br>(百万円) | 流通株式比率<br>(%) |
|---------------------------|-------------------|------------|---------------|-------------------|---------------|
| 当社の<br>適合状況<br>及び<br>その推移 | 2021年6月30日(移行基準日) | 341        | 8,708         | 632               | 37.2          |
|                           | 2023年3月20日時点      | 959        | 7,730         | 597               | 33.0          |
|                           | 2024年3月20日時点      | 980        | 6,993         | 833               | 29.8          |
|                           | 2025年3月20日時点      | 1,075      | 6,960         | 682               | 29.7          |
| スタンダード市場上場維持基準            |                   | 400        | 2,000         | 1,000             | 25.0          |
| 2025年3月20日時点の適合状況         |                   | ○          | ○             | ×                 | ○             |
| 計画期間                      |                   | —          | —             | 2026年3月期          | —             |

※ 当社の適合状況につきましては、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の「株券等の分布状況等」をもとに判定を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に、事業年度の末日以前3ヶ月間の日々の終値の平均値を乗じて算出しております。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価（2024年4月～2025年3月）

当社は、流通株式時価総額が基準に未達となった状況を真摯に受け止め、企業価値の向上と株価の上昇を図るべく業績目標の達成に向けて努力を続けてまいりました。また、先に提出いたしました上場維持基準の適合に向けた計画書に基づく実施状況及び評価は、以下のとおりでございます。

[取組の実施状況]

・流通株式時価総額の充足に向けて

### ① 中期経営計画の着実な遂行

中期経営計画3年目の2025年3月期の計画を達成するため、社員の働き甲斐を追求し、高い収益性を保ち、顧客と社会に貢献する「より良いモノづくりの伴走者」を目指し、各施策に取り組んでまいりました。この結果、売上高、営業利益においては計画未達となりましたが、経常利益、当期純利益につきましては計画数字を上回る事が出来ました。

2025年3月期通期（2024年3月21日～2025年3月20日）計画と実績比較

|               | 売上高   | 営業利益 | 経常利益  | 当期純利益 |
|---------------|-------|------|-------|-------|
| 中期経営計画目標（百万円） | 6,650 | 50   | 120   | 83    |
| 実績（百万円）       | 6,306 | 44   | 141   | 86    |
| 達成率（%）        | 94.2  | 88.0 | 117.5 | 103.6 |

2026年3月期通期（2025年3月21日～2026年3月20日）計画

|               | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------|-------|------|------|-------|
| 中期経営計画目標（百万円） | 6,800 | 78   | 150  | 103   |
| 対前期実績増減率（%）   | 7.8   | 76.4 | 5.9  | 19.5  |

2026年3月期は中期経営計画の最終年となります。目標達成に向けて以下の施策を着実に取り組んでまいります。

- ・加速する世代交代に対応する社内体制の確立
- ・DX・IT化の推進及び啓蒙と平準化
- ・幹部社員のレベルアップ・マネジメント教育
- ・サステナブル経営・SDGs経営の実践
- ・社会貢献活動の継続と企業認知度の向上

なお、新たな中期経営計画（2027年3月期以降）にきまして、今年度中の公表を目指し作成に取り組んでおります。

### ② コーポレート・ガバナンスの強化

当社は、社会課題解決と事業の両立が企業の絶対的な命題になるという認識のもと、社内の若手スタッフを中心に「SDGs委員会」を設置し、サステナビリティ推進の第一歩を踏み出しております。基本方針を「私たちは地域とものづくりに貢献し、100年企業を実現して、未来を提案し続けます。」と宣言しております。

[当社のマテリアリティ]

- ・商社としてお客様に未来を提案します。
- ・将来のビジョンを見通した職場環境をつくります。
- ・個性が活きる会社になります。
- ・環境活動を通じてSDGs普及に貢献します。
- ・絆ネットワークで地産地商を広げます。
- ・会社の基礎をより強固にします。

これら6つのマテリアリティに資する事業活動を展開し、SDGs達成への貢献と当社の企業価値向上の同時実現を果たすべく取り組みを行っております。

### ③ I R強化による市場認知度の向上

Webサイトの活用等により当社における様々な取り組みを発信し、全てのステークホルダーへの周知と浸透を図ってまいりました。

また、個人投資家に対する投資対象としての当社の認知度向上を目指し、潜在株主アンケートを実施（2024年7月）しました。なお、多くの投資家に認知度を向上させる機会として、外部サイトを利用した、決算説明資料の書き起こし記事の公開を期末（5月）・中間（11月）の年2回実施しました。

新たな取組として、2024年12月19日付「名古屋証券取引所メイン市場への上場承認に関するお知らせ」にて公表のとおり、より多くの皆様に向けて当社の事業へのご理解と認知度向上を図り、投資家の皆様との接点を増やす機会を増やすことにより、株式時価の向上および株式の流動性を高めることを目的として、名古屋証券取引所メイン市場へ重複上場いたしました。

今後も引き続きI R情報の充実を図り、社会貢献活動を継続し企業認知度の向上に努めてまいります。

### ④ 株主還元（安定配当）のさらなる充実

配当金の増配について、2025年3月期の期末配当金を1株当たり普通配当30円00銭に創業75年記念配当2円50銭を加えた1株当たり32円50銭（配当性向84.5%）とすることを2025年4月24日開催の取締役会で決議いたしました。

今後の配当については、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当に努めるとともに、中期経営計画の推進による業績向上、収益性の向上に合わせて、配当性向及び1株当たりの配当額の引き上げを目指してまいります。

株主優待制度の導入について、毎年3月20日現在の1単元以上保有の株主様に対して、保有株式数に応じて、当社オリジナルQ U Oカードを贈呈する株主優待を2023年6月より実施しております。

## 3. 上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

### (1) 流通株式時価総額について

#### ・今後の課題

当社は、2025年3月20日時点で、「株主数」や「流通株式数」及び「流通株式比率」は基準以上を確保しながらも、「流通株式時価総額」が基準を充たしておりません。その理由として株価の現状は当社の企業業績と必ずしも連動していないと認識しております。従って企業価値の向上と株式市場での認知度の向上、適正な評価を得ることが課題であると考えております。

#### ・今後の取組内容

上場維持基準の適合に向けた計画書で掲げました「流通株式時価総額」の基準適合に向けた取組の基本方針に変更はございません。当初計画を基に、①中期経営計画の確実な達成による経営指標数値の向上と②コーポレート・ガバナンスの強化により企業価値を高め、株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーに対し、企業活動や業績に係る様々な情報を適時的確に公開できるよう、③I R活動を更に強化してまいります。また、④株主還元のさらなる充実に努め当社株式の魅力をより高めて参りたいと考えております。

以上